



## 逢いに来たよ、 萬世大路

郡山市 愛  
昆

令和になつて初めての7月。記録的な日照不足が報道される中、私はJRの企画で萬世大路散策に参加しました。おそらく今回で3回目になるでしょうか、中には以前一緒に歩いた方もいて、リラックスした雰囲気での出発となりました。

碎石工場を過ぎたところでバスを降り、クマ避けの花火に驚きながらも幾つもの「むすり」をテクテク通過。休憩時には梅津会長の「ブチ講座」で場も和みつつ更に歩くこと数十分、あいにく小雨霞む中ではありました。遂に栗子隧道との久しぶりの対面を果たしました。初代隧道前での説明に加えて、2代目隧道内では某案内人による「お点前」の振る舞いもあり、ここまで疲れもなんのその、参加者みんなが大満足する散策でした。



市井の方々に思  
いを馳せ、そし  
て、その  
息遣いを  
共有す  
る。それ  
がこの遺  
産の持つ  
醍醐味だ  
と考えて  
います。

そもそも私が萬世大路に興味を持ったのは、通訳ガイドとして知識を幅広く身に付けたい、と考えたのが些細なきっかけでした。今でも、外国出身の方にもこの歴史遺産の価値と魅力を知つてもらいたい、という想いは変わつていません。

なぜ同じところに何回も行くのか、とよく訊かれるのですが、おそらく私を突き動かしているのは「飽くなき好奇心」だと思っています。萬世大路を通じて明治という激動の時代を生きた

スタッフの皆さん、散策の前に山道の整備や下刈の作業ご苦労様です。今年は参加出来ませんでしたが、出来るだけ整備にも参加したいと思います。また山で会いましょう。



第26号  
令和元年9月1日発行

発行者  
歴史の道 土木遺産萬世大路保存会  
会長 梅津幸保

事務局  
萬世コミュニティセンター  
☎0238-28-5381

題字は村山道雄元山形県知事

交流広報部副部長  
澤田博

私は萬世大路の散策を一番楽しみにしておりますので、最優先にしております。最近は一番先頭に立ち熊追いの笛を持ち、時々笛を鳴らしながら、整備された道を登つて行きます。途中、蝉の合唱やウグイスの声を聞き、ウグイスの鳴き方を口笛で挑戦して一人で楽しんでいます。年令のせいかうまく吹く事が出来ず、口唇をつばで濡らしながら吹いています。（年は取りたくない？）周囲を愛する事もなく一途に登りやつと栗子隧道の前に到着し、汗をぬぐいながら昼どきごちそうになる手作りの山菜汁を食べるのは本当にうまい。山登りした人だけが味わえる一刻です。皆さんも一度参加して味わってはいかがかな？

スタッフの皆さん、散策の前に山道の整備や下刈の作業ご苦労様です。今年は参加出来ませんでしたが、出来るだけ整備にも参加したいと思いませんでいます。またが、出来るのは、出来るだけ整備にも参加したいと思いませんでいます。またが、出来るのは、出来るだけ整備にも参

## 萬世大路の魅力

澤田博